2026年11月12日　プレスリリース

航空・宇宙・防衛

SAR衛星の実証ラボをIHI本社内に新設、国内で組立・試験を開始

～世界最大のSAR衛星コンステレーションで防衛・防災を支援するICEYEから日本国内へ製造ノウハウを移転～

English page >

IHIは、フィンランドのICEYE Oy（アイサイ、本社：フィンランド、共同創設者兼CEO：ラファル・モドジェフスキ、以下「ICEYE」）との間で締結した衛星の調達契約に基づき、ICEYEから調達する4基のSAR衛星（※）のうち２基の衛星について、2026年10月下旬からIHI本社（東京都江東区豊洲）内に新設した実証ラボ（以下「実証ラボ」）において組立・試験の一部作業を開始しました。なお、これら2基の衛星は、2026年度中の打上げを予定しています。



SAR衛星の組立試験の実施状況（IHI本社内の実証ラボにて）

る座学および実習のトレーニングを実施し、作業に必要な知識、スキル、ノウハウを習得しました。

今回新たに開設した実証ラボは、SAR衛星2基の組立・試験を同時に実施できる施設です。この実証ラボにおいて、組立・試験を実施するほか、IHIのエンジニアのトレーナー資格の獲得を進め、主権的な地球観測インフラの構築・維持において必要な国内での製造能力を獲得します。さらに、実証ラボにおいて得られた知見、ノウハウを活用し、ICEYEとの連携を深化させることにより、SAR衛星の量産製造拠点や国内サプライチェーンの構築に向けた検討を加速させていきます。これらの取り組みを通じて、日本として必要な宇宙インフラを自律的に構築し、日本および同盟国や同志国に対して高品質なインテリジェンスを提供することを目指します。

IHIは、2025年10月、ICEYEと安全保障、公共および商業利用を目的とする地球観測衛星データを提供するため、最大24基のSAR衛星のコンステレーション構築に向け、同社製SAR衛星を調達する契約を締結しました。

IHIは当該契約に基づき4基の衛星を調達し、さらにオプションとして、追加で20基の衛星を製造・運用していく計画です。なお、当該契約で調達する4基のうち2基は、すでに軌道上で運用を開始しており、2026年4月から衛星データの取得を開始しています。

引き続き、衛星から取得するデータに関する需要の発掘活動やユースケースの創出活動を実施し、最大24基体制のコンステレーション構築を目指していきます。

昨今、国際的に地政学的緊張が高まる中、持続的な海域監視と、いかなる状況下においても情報収集・分析が可能なインテリジェンス能力に対する需要が高まっています。IHIが構築を目指す衛星コンステレーションは、昼夜・天候を問わず高解像度の衛星データを取得できるSAR衛星を活用するとともに、将来的には光学、VDES（次世代自動船舶識別システム）、電波収集（RF）、赤外線（IR）、ハイパースペクトル（高い波長分解能）など、複数のセンサーを搭載した衛星を追加する構想です。これにより、海域監視や重要なサプライチェーンの保護、陸上や海上での目標検出および追跡能力の提供を可能とし、日本の国家安全保障および経済安全保障に貢献します。さらに、衛星データや撮像キャパシティの相互共有を通じて、同盟国や同志国との協力・連携を深化する上でも重要な役割を果たすことを目指しています。

IHIは、「技術をもって社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、ものづくり技術を中核とするエンジニアリング力をもって、衛星コンステレーションの整備を主導します。さらに、IHIグループが一体となり陸・海・空・宇宙の多領域においてあらゆる情報を収集し、ニーズに合わせ分析したデータを提供することで、安全・安心な社会の実現に貢献していきます。

IHI 代表取締役副社長執行役員 航空・宇宙・防衛事業領域長 佐藤 篤のコメント

「日本国内でSAR衛星の組立・試験を開始することは、主権的な地球観測コンステレーションを構築するという当社の目標に向けた重要な一歩です。これらの能力を強化することにより、日本はもとより、同盟国および同志国の安全保障に貢献していきたいと考えています。」

[illegible]

<ICEYEについて>

ICEYEは、宇宙からの主権的インテリジェンスの分野で世界をリードする企業です。私たちは、地球上のあらゆる地点で生じる変化を検知し、迅速に対応するための持続的な監視能力を提供しています。

ICEYEは、世界最大かつ最も高度なSAR衛星コンステレーションを保有しています。私たちは、お客様に対し、どのような天候下でも、昼夜を問わず、比類のない品質・低遅延・高頻度撮像を備えたインテリジェンスを提供します。また、自らのコンステレーションを運用することを選択する各国政府には、この実績ある能力を主権的システムとして提供しています。

ICEYEが構築したコンステレーションは、防衛・インテリジェンス、環境モニタリング、保険、緊急対応といった分野の顧客に活用されています。私たちは、より安全な未来に資する迅速な意思決定を可能にします。

ICEYEはフィンランド、ポーランド、スペイン、ドイツ、英国、オーストラリア、日本、UAE、ギリシャ、米国に拠点を持ち、国際的に事業を展開しています。1,500人以上の従業員が、地球観測における「真のデータ供給者」となることで地球上の生活を改善するという共通のビジョンに基づき活動しています。

詳細については、www.iceye.com/ja-jp/ をご参照ください。

メディア連絡先：press@iceye.com



ICEYEのSAR衛星

※　合成開口レーダー（SAR）衛星

SAR衛星は、観測およびリモートセンシング用に必要な、高精度データの提供を可能とする衛星です。マイクロ波レーダーパルスを使用して、天候や昼夜を問わず地球表面の高解像度画像を生成します。これにより、気候変動の分析や船舶追跡を含む多様な用途で、信頼性が高く継続的な監視が可能となります。ICEYEは、SAR衛星において高度な技術力と多くの製造実績を有しており、非常に高機能かつ長寿命のSAR衛星を量産する技術において、世界をリードしています。

～SAR衛星で世界をリードするフィンランド企業との連携により日本国内での衛星運用で安全保障に貢献～
https://www.ihi.co.jp/all_news/2025/aeroengine_space_defense/1201449_13758.html

2025年10月16日
地球観測衛星コンステレーション構築に向けICEYE社と衛星調達契約を締結
～日本の国家安全保障・経済安全保障への貢献に向けた大きな一歩～
https://www.ihi.co.jp/all_news/2025/aeroengine_space_defense/1201691_13758.html

2026年5月28日
IHIの衛星コンステレーション計画においてデータ取得開始～ICEYE製SAR衛星2基の運用開始により日本の主権的地球観測コンステレーション構築に向け本格始動～
https://www.ihi.co.jp/all_news/2026/aeroengine_space_defense/1202054_13805.html

2026年7月22日
SAR衛星の国内組立・試験能力習得に向けてトレーニングを開始
～世界最大級の小型SAR衛星コンステレーションで防衛・防災を支援するICEYEとの トレーニングプログラムにより日本国内へのノウハウの移転を加速～
https://www.ihi.co.jp/all_news/2026/aeroengine_space_defense/1202146_13805.html

ニューストップへ

サステナビリティ

ニュース

サイトマップ

採用情報

Global

English

IHIの
新しい情報を見る

IHIの取り組みを
動画でチェック

個人情報保護方針
Cookie利用方針
サイトのご利用について
ソーシャルメディアポリシー
プライバシー設定
© IHI Corporation All Rights Reserved.